

(株)加藤製作所 現行生産機におけるクローラクレーンのつり荷走行時のクレーン能力設定状況一覧表

No.	機種名	静止つり時 最長ブーム長さ	つり荷走行時のクレーン能力設定(○:STD,△:OPT,x:設定なし)			取扱説明書記述			つり荷走行能力 設定姿勢	荷重検出と 停止方法	つり荷走行能力M/Lへの切替方法	つり荷走行時の走行速度自動制限と 速度に関する注意事項
			荷重表	最長ブーム長さ	M/L	推奨能力	ブーム長さの制限	取扱い時の注意事項				
1	CCH550T	34.5m	○ ※1	~19.1m (4段のうち2段目まで)	○ ※2	走行吊荷重表による	走行吊荷重表による	○ 原則的に禁止。 やむを得ず実施する場合の注意事項 ※3	クレーン主吊り クレーン補吊り	静止つり時と同じ	走行レバー操作による油圧パイロット信号を判断してML荷重表を自動切替え。	走行速度の自動制限機能はなし。 走行は最速で行う。
2	CCH500	51.0m	x	x	x	定格総荷重の1/3以下	最長ブームの1/2以下	○ 原則的に禁止。 やむを得ず実施する場合の注意事項 ※4	クレーン主吊り			走行速度の自動制限機能はなし。 走行は低速で行う。
3	CCH700	54.0m	x	x	x							
4	CCH900	61.0m	x	x	x							
5	CCH1200	63.0m	x	x	x							
6	CCH2000	72.0m	x	x	x							

※1 JCAS2002-2002 クローラクレーンのつり荷走行時の安定に関する指針をベースに、2001年の建機工統一基準指針、及び社内基準をもとに能力設定。

※2 走行レバー操作による油圧パイロット信号を判断してML荷重表を自動切替え。定置つり時と同じ停止型。但し走行は停止しない。

※3,※4 取説の記述は注意事項シート参照。

※5 つり荷走行性能を設定しているCCH550Tは製造検査で実際につり荷走行による荷重試験を行っている。

(株)加藤製作所 現行生産機におけるクローラクレーンのつり荷走行時のクレーン能力設定状況一覧表（取り扱い時の注意事項）

取扱説明書記述	
機種名	機種名
取扱い時の注意事項	取扱い時の注意事項
<p>CCH550T</p> <p>吊荷走行は原則的に禁止されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・走行時の荷振れ等で負荷が変動し、構造物に計算外の衝撃荷重が掛かり危険です。 ・やむを得ず吊荷走行をする場合は、次に示す注意事項を守って使用者の責任において行ってください。 ・吊荷走行が原因で発生したと考えられる損害や損傷は保証の範囲外です。 <p><吊荷走行の制限></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブーム長さ及び荷重は走行吊の荷重表の範囲内で行ってください。 ・走行は、平坦な場所（突起高さが20mm以内）で行ってください。 ・走行方向は前進方向のみとし、上部旋回体の向きはクローラの前後方向にしてください。 ・走行速度は最微速で行ってください。 ・吊荷の高さは地上0.5m以下としてください。 ・走行中は他の操作（巻上・巻下、ブーム起伏、旋回）をしないでください。 ・旋回ロック、旋回ブレーキを掛けて行ってください。 ・操向は走行を停止して吊荷をいったん地面に降ろしてから行ってください。 	<p>CCH500</p> <p>吊荷走行は原則的に禁止されています。</p> <p>CCH700</p> <ul style="list-style-type: none"> ・走行時の荷振れ等で負荷が変動し、構造物に計算外の衝撃荷重が掛かり危険です。 <p>CCH900</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やむを得ず吊荷走行をする場合は、次に示す注意事項を守って使用者の責任において行ってください。 <p>CCH1200</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吊荷走行が原因で発生したと考えられる損害や損傷は保証の範囲外です。 <p>CCH2000</p> <p><吊荷走行の制限></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブーム長さは最長ブームの1/2以下で行ってください。 ・ジブでの吊荷走行は行わないでください。 ・荷重は定格総荷重の1/3以下としてください。 ・走行は、平坦な場所で行ってください。 ・走行方向は前進方向のみとします。 ・走行速度は低速で行ってください。 ・吊荷の高さは地上付近として、高く巻上げないでください。 ・走行中は他の操作（巻上・巻下、ブーム起伏、旋回）をしないでください。 ・旋回ロック、旋回ブレーキを掛けて行ってください。 ・操向は走行を停止して吊荷をいったん地面に降ろしてから行ってください。